

医師偏在対策への提言

国立大学医学部長会議

常置委員会委員長 守山 正胤

医師偏在とくに地方における医師の偏在は未だ解消されず、国立大学医学部とくに地方の国立大学医学部においては極めて重大な課題として存在します。医師偏在は複雑な因子を含んではいますが、都会よりも地方でその深刻さはより重大であります。国立大学医学部の多くは地方に存在しますので、最も深刻な医師偏在の影響を受けているのは地方の国立大学であります（もちろん都会の国立大学にも課題は存在しますが）。

この医師偏在の引き金になったのは、2004年に導入された臨床研修制度です。すなわち、臨床研修制度の結果、2年間の初期研修の段階でどこの組織にも所属せず、結局地方から出て行く研修医が増えたために医師偏在が生じました。これらの医師達の問題は、その後のキャリアパスが判然としない点にあります。地方に戻るでもなく、専門医としてのしっかりしたキャリアパスが保証されているわけでもありません。結果としてフリーランス医師の増加を招いています。

私共、国立大学医学部長会議は、国立大学医学部長が毎年集まり会議を開き、様々な国立大学医学部の課題について調査研究して参りました。以下に私共の医師育成の戦略を列挙させていただきます。

国ならびに国会議員の諸先生方におかれましては、私共の現場の声を聞いていただき、是非ともご参考にして頂ければと祈念いたします。

1. 目指すべき医師像

「全身を診ることができ、病態を理解し必要な対応をとることができる医師（具体的には、夜間当直している際、緊急対応を含めて幅広い診療ができる（専門医へのコンサルトを含めて）。さらに、自分の専門領域（専門医制度基本 19 診療領域）全般にわたり標準的な医療（診断、治療）を患者に提示することができる医師」

2. 目指すべき医師育成の戦略

①卒前教育の充実：

新医師臨床研修制度（平成 16 年度導入、いわゆる「初期臨床研修制度」）において習得すべき目標を卒前教育に積極的に取り入れて、卒前参加型臨床実習を充実させる。これより、夜間、救急医療の現場で患者を診察し、脳神経・循環器・呼吸器・消化器（腹部救急など）などの病態を理解した上で、幅広い知識に基づいた適切な対応ができるように教育する。さらに、この教育成果を検証する医師国家試験改革をおこなう（臨床診断能力や実践的な手技などの習得を評価するものとする）。

②新医師臨床研修制度（いわゆる初期臨床研修）の抜本的な見直し：

従来の初期臨床研修において習得すべき目標を卒前教育へと移行する一方、専門医研修の参入を行い、実質的に卒前から専門医研修へシームレスにつながる課程を創設し選択できるようにする。これまでのローテート方式も残し選択できるようにする。すなわち、初期臨床研修制度の法律（医師法 16 条の 2）を活かしつつ、医師育成のフレキシビリティをあげる。初期臨床研修制度（医師法 16 条の 2）では、卒後、医師は「臨床研修」を受けるとの文言があり、その到達目標を習得できるように、法律に従って 2 年間の医師の臨床研修に対する予算を確保する。

③新しい専門医研修：

現行の新医師臨床研修制度（いわゆる初期臨床研修）による研修と新しい専門医制度による研修を一体化したプログラム（シームレスに続くプログラム）として創設し、専門医育成をおこなうことができる新しい専門医制度設計を提案する。

3. 上記の医師育成システムの利点

①卒前教育の充実（参加型臨床実習の充実）と医師国家試験改革により、卒業後の新医師臨床研修における地域循環型研修に参加する医師の診療能力を向上させることが可能となり、実質的に地域医療に携わる医師の数を増加させることができる。

②卒業後の新医師臨床研修プログラムにおいて、初期臨床研修と専門医研修の一体化プログラムを設定することにより、基本領域 19 専門医資格（いわゆる 1 階部分）を現在より短い期間で取得することが可能となり、サブスペシャリティの資格取得、大学院進学と博士号取得、女性医師のライフワークバランスなどの観点からも有益である。

平成 28 年 10 月 21 日

国立大学医学部長会議 全42大学

【常置委員会】

委員長	守山	正胤	(大分大学)
副委員長	内木	宏延	(福井大学)
顧問	本家	孝一	(高知大学)
相談役	嘉山	孝正	(山形大学)
常任幹事	宮園	浩平	(東京大学)
常任幹事	江石	義信	(東京医科歯科大学)
常任幹事	中山	俊憲	(千葉大学)
委員	伊藤	宏	(秋田大学)
委員	高橋	雅英	(名古屋大学)
委員	塩田	浩平	(滋賀医科大学)
委員	原	英夫	(佐賀大学)
委員	山下	英俊	(山形大学)
委員	下瀬川	徹	(東北大学)
委員	苛原	稔	(徳島大学)

【会 員】

笠原 正典	(北海道大学)	吉田 晃敏	(旭川医科大学)
若林 孝一	(弘前大学)	榊 正幸	(筑波大学)
峯岸 敬	(群馬大学)	武田 正之	(山梨大学)
牛木 辰男	(新潟大学)	田中 榮司	(信州大学)
北島 勲	(富山大学)	多久和 陽	(金沢大学)
湊口 信也	(岐阜大学)	今野 弘之	(浜松医科大学)
緒方 正人	(三重大学)	上本 伸二	(京都大学)
澤 芳樹	(大阪大学)	的崎 尚	(神戸大学)
河合 康明	(鳥取大学)	山口 修平	(島根大学)
大塚 愛二	(岡山大学)	秀 道広	(広島大学)
谷澤 幸生	(山口大学)	今井田克己	(香川大学)
満田 憲昭	(愛媛大学)	住本 英樹	(九州大学)
下川 功	(長崎大学)	西村 泰治	(熊本大学)
丸山 眞杉	(宮崎大学)	佐野 輝	(鹿児島大学)
松下 正之	(琉球大学)		